

| | | | | | |
|-----|-------|-----|-----|-----|-------|
| 部 局 | 都市経営部 | 補 職 | 部 長 | 氏 名 | 籾床 和弘 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-------|

1. 部局の使命

- (1) 市長の公約を具体化するための「基本政策」と市の総合的な指針となる「第4次総合計画」の実現に向けた施策の総合調整を行う
- (2) 市民サービスの向上と地域課題の解決につなげるために、新たな価値の創造と事務事業等の改善・改革を進める
- (3) 市民からの信頼と共感を得るために、わかりやすい情報発信と対話に努める

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

| 方針 | 取り組みの総括 |
|--|---|
| <p>(1) 従来の価値観や手法にとらわれず、常に「市民感覚」「社会情勢の変化」「先見性」の視点を持ちながら、企画立案、各部局との調整に取り組みます。</p> <p>(2) 市政情報や緊急情報、新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起情報などを、さまざまな手法を使ってわかりやすく、効果的に発信します。</p> <p>(3) 市民からの声を広く聴き市政に活かします。</p> <p>(4) 民間事業者や地域活動団体など幅広い主体との連携を進め、市民サービスの向上や地域課題の解決につなげます。</p> <p>(5) 地域とのつながりや業務等を通じて、職員のスキルアップを図ります。</p> | <p>(1) めまぐるしく変化する社会経済情勢や市民ニーズを見据え、市の最上位計画となる総合計画の後期5年間の計画を取りまとめました。また、自治基本条例の運用状況の点検を行い、概ね条例に規定する内容で自治を進めることができている。引き続き、市民の参画と協働につながる市政運営に取り組みます。</p> <p>(2) 広報誌をリニューアルするとともに、SNS等を活用して市政情報を発信しました。引き続き、さまざまなツールの活用やタイミングを意識しながら、わかりやすい、共感していただける情報発信を行います。</p> <p>(3) 市民の声をはじめ、総合コールセンターの運用、市長ふれあいトークなど、多くの市民のご意見をいただく機会の実現に取り組みました。また、いただいたご意見等については、業務改善や施策立案の参考としました。一方で、個人情報の取り扱いに不手際があり、関係する市民に多大なご迷惑をおかけしました。今後も事務の適正な執行はもちろんのこと、安心して声を寄せていただけるよう取り組みます。</p> <p>(4) 民間事業者等と連携して地域課題の解決に取り組むと共に、民間事業者等との連携協定を締結しました。引き続き、公民学連携を推進して、地域課題の解決、市民サービスの向上を進めていきます。</p> <p>(5) 職場での技術・知識の継承をはじめ、民間事業者との連携を通じて、職員のスキルアップを図りました。業務の目的および市民起点、多様性の視点をしっかり持って、人材育成に取り組みます。</p> |

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|----|---|---|---|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 1 | <p>基本政策の推進</p> <p>(1) 市長公約を実現するために、今後4年間に取組む基本政策に着手します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本政策策定(6月末) ・令和4年度(2022年度)実績取りまとめ(3月→4/1公表) <p>(2) 基本政策を戦略的に進めるための経営戦略方針および単年度方針を策定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略会議(年3~4回) ・経営戦略方針および単年度方針2023の策定(8月~9月上旬) | <p>(1) 市長の任期中に取り組む政策をまとめた「基本政策(令和4年度(2022年度)~令和7年度(2025年度))」を6月に策定しました。また、1年目の令和4年度(2022年度)の取組状況を取りまとめ結果、進捗率は77%でした。</p> <p>(2) 経営戦略会議を3回開催し、学識経験者や経営者から市政運営に関する幅広い意見をいただきました。また、基本政策を経営的視点でスピード感をもって着実に進めるための「経営戦略方針2022~2025」および「単年度方針」を9月に策定しました。単年度方針に掲げた重点事項に基づき、令和5年度(2023年度)予算を編成しました。</p> | <p>(1) 社会環境の変化等を見極めながら、引き続き、基本政策の達成に向けて取り組みます。</p> <p>(2) 引き続き経営戦略会議を設置し、専門委員より多角的な視点から意見をいただき、市政運営に反映していきます。</p> |
| | <p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p> | | |
| | <p>基本政策</p> <p>0</p> | | |

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|-------------|---|---|--|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 2 | <p>第4次総合計画の推進</p> <p>(1) 市の総合的な計画となる「第4次総合計画前期基本計画（以下、「前期基本計画」）」を推進します。また、昨年度に実施した人口に関する調査研究を活用し、令和5年度（2023年度）から着手する「後期基本計画」、人口対策や地域の活性化等を目的とした「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略および人口ビジョン」（以下、「第3期総合戦略」）を策定します。総合計画および総合戦略の推進にあたっては、SDGsとも連動させながら取り組みます。</p> <p>①前期基本計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策評価の公表（8月下旬） ・総合計画審議会での検証（9月～12月） ・次年度実施計画の策定（11月） <p>②後期基本計画および第3期総合戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政素案策定（5月末） ・総合計画審議会およびまち・ひと・しごと創生総合戦略委員会での審議を経て素案策定（10月） ・パブリックコメント（11月） ・後期基本計画および第3期総合戦略策定（1月） | <p>(1)</p> <p>①前期基本計画に掲げる施策に取り組むとともに、令和5年度(2023年度)の実施計画を11月に策定しました。4年次の取組みを政策評価として取りまとめ8月に公表するとともに、12月に政策評価結果に対する審議会からの意見集を取りまとめました。</p> <p>②庁内会議、審議会、パブリックコメントを経て、SDGsと連動した後期基本計画を3月に策定しました。</p> | <p>(1)</p> <p>①最終年度となる令和4年度(2022年度)の取組みを取りまとめ、前期基本計画の総括を行います。</p> <p>②令和5年度(2023年度)から後期基本計画にも続く施策を推進し、毎年度評価していきます。また、後期計画の取組みを通じてSDGsのさらなる啓発に取り組みます。</p> |
| | 総合計画 | | |
| | 5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。 | | |
| 基本政策 | | | |
| | 70 みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進 | | |

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|-------------|--|--|--|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 3 | <p>戦略的な広報・広聴の推進</p> <p>(1) リニューアルした広報誌をはじめ、ソーシャルメディア等を活用して、戦略的(発信内容、ターゲット、手法など)にわかりやすく市政情報を発信します。また、新型コロナウイルス感染症の注意喚起や各種支援策など感染状況に応じた内容を発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌の発行(毎月) ・ ホームページ、ソーシャルメディア等での発信(随時) <p>(2) 多様な手法を使って広く市民の意見を聴くとともに、いただいた声を市政に活かしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の声(随時) ・ 総合コールセンター(随時) ・ 専門相談(随時) ・ 市長ふれあいトーク(年間5回) ・ 市長が聴く(年間5回) ・ 新型コロナウイルス感染症コールセンター(随時) | <p>(1) 4月から新しい広報誌(誌面の変更、フルカラー、文字の拡大など)を発行しました。毎月、分かりやすさ、見やすさに留意しました。9月にリニューアル後の広報誌に関するアンケートを実施しました。また、ホームページやソーシャルメディアを使って、市政情報や緊急情報を発信しました。</p> <p>(2) 市民の声や総合コールセンターなど、市民からのご意見やお問い合わせに対応しました。総合コールセンターについては、11月から12月にかけて満足度調査を実施しました。市長ふれあいトークを5回、市長が聴くを3回実施し、様々な分野で活躍されている人たちと市長が対談しました。</p> | <p>(1) 市政情報については、広報誌やホームページ、LINEなどをうまく活用して、引き続き分かりやすい情報発信に取り組みます。広報誌に関するアンケートでは概ね良好な回答を得ることができましたが、いただいた意見を踏まえ、改善していきます。</p> <p>(2) 今後も様々なツールを使って市民からの声を広く聴いていきます。市民の声については、個人情報の取り扱いに細心の注意を払い、信頼回復に取り組みます。総合コールセンターについては、災害時でも応答できるよう強化します。</p> |
| | 総合計画 | | |
| | 5-1-① 市政情報の発信・提供・公開を推進します。 | 5-1-② 市民が参画できる機会の充実を図ります。 | |
| 基本政策 | | | |
| | 61 対話と発信による共感・共創づくり | | |

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|----|---|---|--|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 4 | <p>南部地域活性化構想の推進</p> <p>(1) 庄内さくら学園開校に伴い跡地となる学校敷地の活用策を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存建物等の調査(9月) ・跡地活用案の方向性決定(10月) ・事業者公募に向けた検討(11月～12月) <p>(2) (仮称)南校の開校に向け、関係部局と連携しながら地元との意見交換会を行うとともに、学校跡地の活用策を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元との意見交換会(随時) ・跡地活用に向けた検討(随時) <p>(3) 庄内さくら学園校区の児童・生徒を対象に、音楽、スポーツといたった南部地域の要素を活かした教室「まちごと暮らスクール」を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのための音楽教室(7月:プレ実施 10月～:事業開始) ・スポーツ教室、ものづくり教室、家庭科室(7月:プレ実施 10月～事業開始) <p>(4) 地域内交通の推進に向けて、「南部地域における将来の交通インフラの考え方」を策定します。</p> | <p>(1) 庄内さくら学園開校に伴い跡地となる島田小学校、野田小学校、庄内さくら学園中学校について、民間からの幅広い提案に基づき活用していくことを11月に決めました。島田小学校については令和6年度(2024年度)から、その後段階的に跡地活用を進めます。</p> <p>(2) (仮称)南校の開校に向け、地域への説明会を実施しました。</p> <p>(3) 庄内さくら学園校区のこどもたちを対象に、7月から2月にかけて、庄内小学校、野田小学校、島田小学校で音楽やスポーツの体験会を実施しました。</p> <p>(4) 南部地域の将来のまちの変化を見据えた「南部地域における将来の交通インフラの考え方」を7月に策定しました。</p> | <p>(1) 事業者から幅広い提案を募り、南部地域の活性化に資する拠点にしていきます。</p> <p>(2) 令和5年度(2023年度)に(仮称)南校エリアの学校跡地活用の方向性を決め、開校後にスムーズに活用できるように調整を進めます。</p> <p>(3) 南部地域の魅力を活かしたイベントなどの取組みを、地域の方が企画・実施していけるよう支援します。</p> <p>(4) 公民学連携を活用して、次世代モビリティの実証実験などを検討します。</p> |
| | <p>総合計画</p> <p>0-0-0</p> | | |
| | <p>基本政策</p> <p>32 南部地域の活性化</p> | | |

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|-------------|--|---|---|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 5 | <p>行財政改革の推進</p> <p>(1) 公民学連携や広域連携を推進し、市民サービスの向上や地域課題の解決につなげます。</p> <p>①公民学連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーラムの開催(年2回) ・連携協定の締結および取組み(随時) ・地域課題解決支援事業(7月:民間事業者決定~11月:実証実験) ・スマートシティ推進に向けた検討(随時) ・ICTを活用した高齢者見守りサービスの実証実験(~10月) <p>②広域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NATSとの連携(随時) ・他都市との連携(随時) ・中核市移行10年の振り返り(10月) <p>(2) 経営者や有識者を交えた経営戦略会議を設置し、そこでの意見等を都市経営に活かしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略会議の開催(年4回程度) <p>(3) 部局横断的な計画等を担当課と連携しながら進めていきます。</p> <p>①第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度のとりまとめと進行管理(9月) ・まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会での審議(7月~8月) <p>②公共施設等総合管理計画(公共施設の再編等の計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設再編に向けた部局間の調整(随時) ・個別活用計画策定(8月) <p>③SDGs未来都市計画(SDGsに関する具体的な計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度のとりまとめと進行管理(6月) ・次期SDGs未来都市計画の策定(3月) <p>④強靱化地域計画(大規模自然災害に備えた強靱な地域づくり計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度のとりまとめと進行管理(7月) <p>⑤自治基本条例運用状況の検討(4年に1度実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案とりまとめ(11月)→パブリックコメント(12月~1月)→公表(3月) | <p>(1) 阪急電鉄との共同開催によるフォーラムを12月に開催しました。11月に南部地域でデジタルエキスポを開催し、多くの市民の方にデジタル化を実感していただきました。こども向けの見守りシステム(OTTADE)を活用して、6月から8月にかけて高齢者の見守り実証実験を行いました。NATSでは人材交流や保健、環境分野の取組みを行いました。地域課題解決支援事業として、支援手帳のデジタル化やNFTアートの啓発など5件のテーマに取り組みました。広域連携では、同じ中核市である山形市との人材交流や隠岐の島町とのカーボンオフセットに関する手続きを2月に実施しました。10の企業と事業連携協定を締結しました。</p> <p>(2) 大学教授や経営者が参画する経営戦略会議を3回開催し、コロナ後の取組みや社会教育など幅広いテーマについて議論しました。</p> <p>(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略、第2期SDGs未来都市計画を3月に策定しました。公共施設等総合管理計画に基づき施設再編に取り組みました。自治基本条例運用状況の検討について3月に取りまとめ、条例に基づく運用ができていることを確認しました。</p> | <p>(1) 引き続き、さまざまな分野で公民連携を進め、地域課題の解決や市民サービスの向上につなげます。</p> <p>(2) 経営戦略会議での議論を踏まえ、経営的視点を取り入れながら、スピード感をもって施策を進めます。</p> <p>(3) 関係部局と連携して自治基本条例をはじめ、まち・ひと・しごと創生総合戦略、SDGs未来都市計画を推進します。</p> |
| | <p>総合計画</p> <p>5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。</p> | 5-2-④ | 多角的な連携に取り組みます。 |
| 基本政策 | | | |
| 35 | スマートシティの推進 | 67 | 公民学連携の推進 |
| 68 | 広域連携の推進 | 69 | 創る改革を推進するための環境づくり |

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|-------------|--|---|---|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 6 | 都市政策に関する調査・研究および地域人材の育成 | <p>(1) とよなか都市創造研究所運営委員会での審議(年3回)を踏まえ、3つのテーマ(社会的処方、孤独・孤立、健康データの利活用)に関する調査研究を3月に策定しました。</p> <p>(2) 第6期とよなか地域創生塾を7月から2月に実施し、14回のカリキュラムを経て19の方が塾を卒業されました。今後の地域創生塾について検討し、卒塾生の地域活動をより支援するために、市民協働部に塾の事務を移管することにしました。</p> | <p>(1) アドバイザー制度を導入し、より効果的に中長期視点に立った都市政策に関する調査研究を進めます。また、各部局の政策立案を支援し、政策形成能力の向上に貢献します。</p> |
| | <p>(1) 政策形成過程の課題や中長期的視点からのまちづくりに関する調査研究に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究テーマ「(仮称)健康と都市政策」(3月策定) ・とよなか都市創造研究所運営委員会での審議(年3回) <p>(2) 第6期とよなか地域創生塾を開校し、地域課題の解決を実践できる人材の育成に取り組みます。また、令和5年度(2023年度)以降の地域創生塾の方向性について検討します。</p> <p>①第6期とよなか地域創生塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ講座(5月) ・開校(7月) ・修了式(2月) <p>②とよなか地域創生塾の方向性に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討(4月～10月) | | |
| 総合計画 | | | |
| | 5-1-④ 多様な人たちが関わる地域自治を推進します。 | | |
| 基本政策 | | | |
| | 69 創る改革を推進するための環境づくり | 70 | みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進 |

| No | 当年度目標(当初設定) | 実績 | |
|-------------|--|--|---|
| | 取組み事項及びその内容・スケジュール | 取組みを行った内容・成果 | 課題・今後の方向性 |
| 7 | <p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 都市経営部の使命を遂行できる人材の育成と、職員がやりがいをもって働くことができる職場づくりに取り組みます。</p> <p>①上司と部下による1対1の対話(1on1ミーティング) (随時)</p> <p>②職員に権限を持たせるとともに、上司によるこまめなフォローアップ(目的、目標の確認など) (随時)</p> <p>③地域や企業等との対話(随時)</p> <p>④情報収集・情報共有の徹底(随時)</p> <p>⑤企画書づくりと発表(課題設定力、論理的思考力、伝達力の向上)(随時)</p> | <p>(1)</p> <p>①個人面談をはじめ、仕事の状況や体調面など機会をみながら職員との対話に取り組みました。</p> <p>②ミーティングを通じて進捗状況や目標の確認を随時行いました。</p> <p>③地域の方や企業の方との対話を通じて新たな知識や考え方を習得しました。</p> <p>④新聞やネットワークなど様々なツールを使って情報収集、情報共有を行い組織力の強化を図りました。</p> <p>⑤課題設定力や論理的思考力の向上を図るために、子育て支援に関する企画作りに取り組みました。</p> | <p>職員同士の議論や民間企業等との対話、研修などを通じて、都市経営に必要な課題設定力、論理的思考力、情報収集・発信力を高めていきます。</p> <p>また、個人面談やミーティング、情報共有を積極的に行いながら、働きやすい職場づくりや、やりがいをもって仕事ができる環境づくりを進めます。</p> |
| | 総合計画 | | |
| | 5-2-① 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。 | | |
| 基本政策 | | | |
| | 65 職員力を高める人材育成等の推進 | 69 | 創る改革を推進するための環境づくり |
| | 70 みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進 | | |

4. 中期目標(概ね今後4年間)

| No | 取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など | スケジュール(工程) |
|-------------|---|--|
| 1 | <p>基本政策の推進</p> <p>(1) 社会環境の変化や市民ニーズをとらえながら、基本政策の達成に向け取り組みます。</p> <p>(2) 基本政策を着実かつスピード感をもって進めるために、経営戦略方針を策定します。</p> | <p>①基本政策の策定：令和4年(2022年)5月末</p> <p>②基本政策の進捗状況の公表：毎年度当初</p> <p>③経営戦略方針の策定：令和4年(2022)8月末（単年度方針は毎年度策定）</p> |
| 総合計画 | | |
| 5-2-① | 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。 | |
| 基本政策 | | |
| 0 | | |
| | | |
| 2 | <p>第4次総合計画の推進</p> <p>(1) 前期基本政策に掲げた17施策について、研修や総合計画審議会での意見を踏まえ、引き続き、完遂に向け取り組みます。</p> <p>(2) 新型コロナなど社会環境の変化等をふまえ、新たに後期基本計画を策定するとともに、まちの将来像の実現に向けた施策に取り組みます。</p> <p>(3) 施策の推進にあたっては、政策評価によるPDCAサイクルを用いるとともに、審議会での検証や研修を行いながら取り組みます。</p> | <p>①前期基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価の実施：令和4年度（2022年度） 令和5年度（2023年度） <p>②後期基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定：令和4年度（2022年度） 評価の実施：令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度） |
| 総合計画 | | |
| 5-2-① | 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。 | |
| 基本政策 | | |
| 70 | みんなで取り組み支え合うまちづくりの推進 | |
| | | |

| No | 取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など | スケジュール(工程) |
|----|---|---|
| 3 | <p>南部地域活性化構想の推進</p> <p>(1) (仮称)南校の設置に伴う学校跡地活用について、関係課と連携しながら地元説明会や庁内調整を進めます。</p> <p>(2) 庄内さくら学園設置に伴う学校跡地については、用途の特性や民間事業者からのヒアリング等を参考に、有効活用に向けた取組みを進めます。</p> <p>(3) 関係部局と連携しながら、南部地域に合ったにぎわいを創出します。</p> | <p>① (仮称)南部コラボセンター：令和5年(2023年)2月開設</p> <p>②庄内さくら学園：令和5年(2023年)4月開校</p> <p>③ (仮称)南校：令和8年(2026年)4月開校</p> <p>④学校跡地活用事業：令和4年度(2022年度)検討 令和5年度(2023年度)～事業着手</p> <p>⑤公共施設の再編(随時)</p> <p>⑥まちごと暮らスクール：令和4年度(2022年度)</p> |
| | 総合計画 | |
| | 0-0-0 | |
| | 基本政策 | |
| | 32 南部地域の活性化 | |
| 4 | <p>戦略的な広報・広聴の推進</p> <p>(1) 市民の信頼と共感を得るために、広報誌やソーシャルメディア等を活用して、伝えるべき情報を戦略的かつ分かりやすく発信していきます。</p> <p>(2) 広報誌やソーシャルメディアなど、時代やニーズにあった発信手法を検討していきます。</p> <p>(3) 市政に対するご意見を多くいただけるよう工夫していきます。</p> | <p>①広報とよなか4月号より新デザインで発行：毎月</p> <p>②広報誌アンケートの実施：令和4年度(2022年度)</p> <p>③ホームページへCDN※導入：令和4年度(2022年度)</p> <p>※CDN：サーバーへの負荷を軽減するネットワーク</p> <p>④ホームページ管理システム管理業務契約更新：令和5年度(2023年度)</p> |
| | 総合計画 | |
| | 5-1-① | 市政情報の発信・提供・公開を推進します。 |
| | 基本政策 | |
| | 61 対話と発信による共感・共創づくり | |

| No | 取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など | | スケジュール(工程) | |
|----|---|-----------------------|--|----------------------|
| 5 | 行財政改革の推進 (1) 外部識者からの意見や社会情勢の変化等を的確に捉えながら、都市経営を進めます。 (2) 市民サービスの向上や時代の変化に対応していくために、公民学連携、広域連携および事務事業の見直しを進めます。 (3) 公共施設を安定的に運営し、市民サービスの向上につなげられるよう、公共施設の戦略的配置、複合化・多機能化を進めます。 (4) 市民、事業者とともにSDGsを推進します。 (5) 大規模自然災害にも強く、しなやかに復旧できるまちづくりを進めます。 | | ①経営戦略方針（単年度方針）の推進：毎年度 ②事務事業の見直し：令和5年度（2023年度）～令和8年度（2026年度） ③ICTを活用した取組みの推進：随時 ④公民学連携の推進：随時 ⑤広域連携の推進：随時 ⑥個別施設計画の推進：随時 ⑦SDGs未来都市計画の推進：随時 次期SDGs未来都市計画の策定：令和4年度（2022年度） ⑧強靱化地域計画の推進：随時 次期強靱化地域計画の策定：令和6年度（2024年度） | |
| | 総合計画 | | | |
| | 5-2-① | 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます。 | 5-2-② | 適切な公共施設のマネジメントを進めます。 |
| | 5-2-④ | 多角的な連携に取り組みます。 | | |
| | 基本政策 | | | |
| 35 | スマートシティの推進 | 67 | 公民学連携の推進 | |
| 68 | 広域連携の推進 | 69 | 創る改革を推進するための環境づくり | |